



# 市民の輪のなかに入った セーフコミュニティ



## サポセンフェスでセーフコミュニティコーナー大好評！

### ●オトナの文化祭サポセンフェスに出展

春の陽光爽やかな3月2~3日、浦和パルコの上階にあるさいたま市の公共施設「コムナーレ」9階で開催された、さいたま市民活動サポートセンターフェスティバルに、さいたま市民ネットワークは実行委員団体として出展しました。

市民ネットは、「セーフコミュニティコーナー」・「市民と自衛隊との協働コーナー」・「シルバーeスポーツコーナー」・「特設ステージ出演」の4部門で参加、大好評を得ました。

### ●400名余の市民にセーフコミュニティPR

市 危機管理課との協働によるセーフコミュニティコーナーには400名以上の市民が訪問、「初めて知ったが、なかなかいい取り組みだね」「良いことなんだからもっと普及させるべき」等々のお声を頂き、市民と直接のセーフコミュニティ対話の花が咲きました。

改めて、セーフコミュニティは会議室の中でやっているのではなく、市民の中に入っていきべきであることを確認しました。

### ●セーフコミュニティブース活動参加者

【さいたま市民ネット セーフコミュニティ推進委員会 関係】

森田孝理事長(高齢者委)・丸川國俊監査役(高齢者委)  
水野臣次事務総長(子ども委)・小林保二総務会長(子ども委)  
西森勢国際局長(自殺委)・堀内直子理事(高齢者委)  
谷中信用顧問(市議会)、北岡久住顧問(市議会)

お手伝い＝市民ネット理事・ゲスト15名

【さいたま市役所(危機管理課)関係】

安野貴裕主事、下岡樹也主事

つなが竜ヌウ、セーフコミュニティ啓発ノベルティ400セット

【協力】市いきいき長寿推進課、防衛省自衛隊さいたま事務所

### ●サポセンフェスティバル参加DATA

- ・ご来場者数 5,058名様(2日間合計)
- ・出展団体数＝ブース&ステージ両参加7団体  
ブース26団体、ステージ12団体、計45団体
- ・アートフラッグ協力学校数 小学校12校、中学校4校  
教育支援センター1校、計17校
- ・両日にわたってブース紹介&ステージのYouTubeライブ配信

### 国際認証式典で清水市長とネットメンバー



令和元(2019)年.11月23日 浦和ヨルソホール

## セーフコミュニティとは

事故やケガを予防するため、市民団体や企業、警察、市(行政)などでネットワークを作り、データ(根拠)に基づいた取組を行い、市民が安心安全に暮らせるまちづくりを進めるWHO(世界保健機関)が推奨する政策。

さいたま市は、令和元(2019)年に国内で16番目、政令指定都市全域では初めて国際認証されました。

日本No.1安心安全な  
さいたま市に!



セーフコミュニティ

# サポフェスで笑った！学んだ！楽しんだ！



**ウクライナ応援歌「ここに幸あれ」発表**  
 作詞：佐々木謙・ウクライナ大使館共作  
 作編曲：小林保二、歌唱：細沼初美



**eスポーツによる社会貢献**  
 公民学の共創 シルバーeスポーツ



**「良いことをやってるね！」と好評**  
 大人気のセーフコミュニティコーナー



コンナレ10階では「浦和コミセンまつり」、1階の市民広場では「さいたま市民活動夢マルシェ！」が同時開催され、浦和駅東口周辺は春先取りの華やかさでした。



**みんなで進めよう！さいたま市民セーフコミュニティ**



**ヌグが市民ネットブースをレポートしYouTubeで配信**

## 清水市長 施政方針でセーフコミュニティ推進の決意を表明！

清水勇人さいたま市長は令和6年度施政方針演説の中で、セーフコミュニティについて2回にわたって言及し、その推進について強い決意を表明しました。

2月6日さいたま市議会本会場 県民公論 取材

## シルバーeスポがテンセント社と協働へ！

世界最大のIT・ゲーム開発企業であるテンセント社は2月28日、サポセンで市民ネットと懇談し、今後、市民ネットと協働してシルバーeスポーツによる社会貢献を推進していくことで合意しました。

**認知症Friendly チームオレンジ**

**市民ネット** はさいたま市認知症フレンドリー団体になりました

